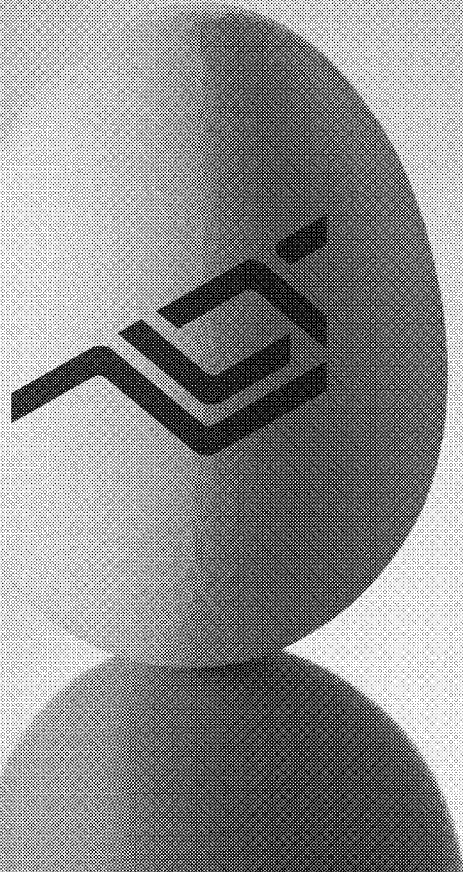


新しいロゴのもとで、
新しいテクノロジーを
生み出します。



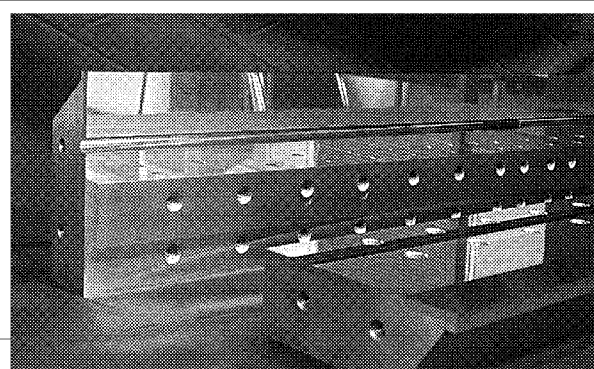
「成長・飛躍」のイメージを表現して、
右肩上がり新ロゴです。

ロゴは、その会社の顔となって皆さまの
目に触れ、世界を駆け巡るものです。
私たちNLTテクノロジーの総意と創意
を託したロゴが、ここに誕生しました。
左下から右上に並ぶ3つのブロックは
「N」「L」「T」を表し、それらの文字の一部
が右肩上がり直線を示すことで、
「NLT」が今後さらに「成長・飛躍」して
いくという強い決意を込めています。
これまでも、そしてこれからも、NLT
テクノロジーはお客様と共に、新たな市場
の創造に挑戦いたします。さまざま
な技術革新と共に成長・飛躍する、
NLTテクノロジーにご注目ください。



NLTテクノロジー株式会社

〒211-8666 神奈川県川崎市中原区下沼部1753番地
http://www.nlt-technologies.co.jp/



ファイバー系の塗工に威力を発揮する HIP 塗工ダイ Tダイ

母在一体型HIP合金接合
硬度HRC58UP～
HIP層はミリ単位

先端エッジはμ単位の鋭角に。
靱性があり「カケ」にくい。補修は研削加工のみ Ry0.2μ。
フィルム・ガラスの塗工に。

FPD International 2011 に出展いたします

小間番号: 3303



平井工業株式会社 HIPリップ事業部

本社: 〒661-0802 兵庫県尼崎市長洲中通2-2-6
TEL: 06-6488-4351 (代表) FAX: 06-6488-4355
URL: <http://www.hiraken.com>
E-mail: mak@hiraken.com

FPD! International 2011

きょう開幕

フラット・パネル・ディスプレイ (FPD) と製造・検査装置・部品・材料・応用製品までを一堂に集めた展示会「FPD International 2011」が、きょう26日(水)から28日(金)までの3日間、横浜市のパシフィコ横浜・展示ホールで開催される。主催は日経BP社で、SEMIが共催する。同時に基調講演・フォーラム、関連セミナーなど多彩な催しが行われる。入場料は2,000円。ただし事前登録者は無料。開場時間は10時から17時まで。

FPD Internationalは液晶表示装置 (LCD)、有機ELエレクトロ・ルミネッセンス (EL)、タッチパネル、電子ペーパー、3D (立体映像) デイスプレーなど最新のFPDと、製造・検査装置、部品・材料、応用製品などの製造技術が一堂に集まり、国内外から注目が集まるFPD関連分野の情報交換の場となる。今回、新たに「LEDソリューション2011」「電力マネジメント2011」「Smart City Week 2011」の3つの展示会が同時開催され、展示会場はさらに盛り上がりを見せそうだ。展示会全体の出展者総数は274社。

進化を続けるFPDは、ライフスタイルを変革し、市場が急拡大を続けている。今回のFPD Internationalは、LED用電源など照明内部の部品・分析・検査装置など最新技術が集結する。省エネや省電力が注目される中、今までのLED照明の高まるLED照明工場やオフィスでのライティングマネジメントは、これまであまり注

目されていなかったが、今では電力の効率化を図るためには欠かせず、このできない要件になっている。電力マネジメントは工場・オフィスのエネルギーソリューションを展示とセミナーで紹介する。今夏の工場やオフィスにおける省電力マネジメントは、対症療法的な対策によって乗り越えてきたといえる。今後は持続的な電力不足に備え、中長期的視点を持って根本的な対策を打たなければならない環境となっている。

展示会場には電力の確保や管理、制御ノウハウ、電力消費を抑制する製品やツールなど総合的なエネルギーマネジメントを実現する製品、サービスが集結する。会場内では、激変するマーケットに挑むFPD産業

の新たな成長のカギとなる最先端の技術トレンド、素材開発、新製造法など充実のプログラムで構成される。基調講演 (別表参照) は26日13時から、進化するFPD、次なる市場拡大の鍵は?、27日10時から「未来FPDアプリケーションと次世代技術展望」と題して日本、韓国、台湾、中国のFPD産業キーパーソンがそれぞれ講演を行う。また、LEDソリューション2011の基調講演として26日10時から「急拡大するLED照明マーケット日本、アジア、世界の最新技術トレンドを展望」と題する講演が行われ、LEDに関する最新動向が紹介される。専門セッションは、次世代FPDで6セッション、「有機EL」で5

セッション、「タッチパネル」で4セッション、「特別セッション」で3セッションの4種類計18件が開かれる。関連セミナー・シアターでは、出展者カンファレンスや「台湾FPD最新動向」「LED液晶テレビの電力効率を最適化するスマートLEDドライバとセンサ・ソリューション」「インタラクティブ・デジタルサイネージの市場動向と最新事例」の3テーマで複数の発表が行われる。また、「電子ペーパー/デジタルアプリケーション研究会」と「電子ペーパーシンポジウム」が開かれるほか、会場内にはプレゼンテーションシアターが設けられ、聴講無料のセミナーが14件開かれる。

FPD Internationalフォーラム2011 基調講演プログラム

●進化するFPD、次なる市場拡大の鍵は?

26日 13:00-16:00

「株式会社ジャパンディスプレイ」設立について..... 産業革新機構 投資事業グループマネージングディレクター 谷山 浩一郎氏

「テレビ市場の新しい傾向」..... LG Display Market Intelligence Department VP Sang-yeoup Rhee氏

「AU Optronics社が牽引するディスプレイ・イノベーション」..... AU Optronics Executive Strategic Planning Division Vice President Frank Ko氏

「Moving Forward with Innovations that Lead the Future」..... Chimei Innolux Product Technology Center Associate Vice President James Yang氏

「Not Freezing, But Innovating」..... 中国BOE Technology Group Global Marketing and Sales Center SVP David Li氏

●未来のFPDアプリケーションと次世代技術を展望

27日 10:00-12:00

「LG Electronicsが考える『ディスプレイ・テレビの未来』」..... LG Electronics Japan 商品企画部 部長 土屋 和洋氏

「大型有機ELテレビ時代を切り開くロール・ツー・ロール製造技術」..... Sungkyunkwan University SKKU Advanced Institute of Nanotechnology Chair Professor Ho-Kyoon Chung氏

●LEDソリューション2011 基調講演

急拡大するLED照明マーケットー日本、アジア、世界の最新技術トレンドを展望

26日 10:00-12:00

「LED照明・技術の概要」..... 特定非営利活動法人 LED照明推進協議会理事長 太田 光一氏 (豊田合成 常勤監査役)

「高効率白色LEDの技術動向と将来展望」..... 日亜化学工業 LED事業企画本部LED事業企画部 部長代理 末永 良馬氏

「白色LEDの過去から現在、そして未来へ」..... フィリップス・スミレス・ライティング・カンパニー バイスプレジデント 山田 範秀氏

(会場はパシフィコ横浜・会議センター1Fメインホール、専門セッションプログラムを除く)

NLTテクノロジー

NLTテクノロジーは、深圳中航光電子とNECとの合弁に伴い、7月1日にNEC液晶テクノロジーから社名を変更した。展示内容は、同社独自の横倍密度画素 (HDDP) 技術を使った3D/2Dディスプレイ、オンセルタッチパネル任意形状・電子ペーパー・高色再現技術 (Color Xcell) などの同社コア技術を生かしたディスプレイ展示と、白色LEDバックライト、抵抗膜式タッチパネル、高コントラスト、強外光対応、超広視野角を画した産業系および医療系向けの製品ラインアップを展示する。同社は新たな市場に挑戦していく。

日本電気硝子

日本電気硝子はFPD関連の最先端ガラス製品を展示する。基板ガラスでは0.5ミリの厚のG11サイズ (3000mm×3320mm)、0.2ミリの厚のG8.5サイズ (2200mm×2500mm)、0.1ミリの厚のG5サイズ (1100mm×1300mm) を展示。いずれもサイズ比で世界最薄級、厚さ比で世界最大級。タブレット向けカーバガラス用化学強化専用ガラス「CX01」の大幅 (2000mm×2500mm) や、プラズマディスプレイ用世界最大級の1522mm×509mm×4面取り基板ガラス、封着用粉末ガラスを展示する。また、超薄板ガラス両面に反射防止膜を成膜した「見えなガラス」も作り上げた。

平井工業

平井工業は押し出し機や塗工ダイにHIP (熱間等方圧加圧接合) 処理し、各産業分野に提供している。HIPは母材と違う金属粉末を緻密化して結合する技術。2009年度「ものづくり中小企業試作開発等支援事業」にも採択された。各種試作製品のうち、Tダイ (フラットダイ) はエッジのHIP処理やニホルドを含む流路の硬質クロムメッキ処理などを実用段階へと進化した。塗工ダイ・リッパはHIP処理で母材と一体化するため、流路変化を嫌う顧客の試作依頼が多い。さらに、高硬度HIP材の一体化製品を目指した研究開発も進めている。

出展企業の製品・技術

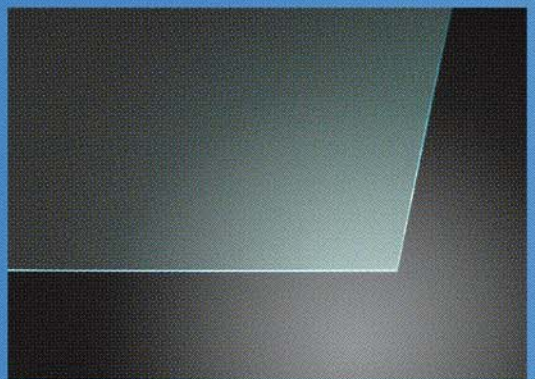
〈順不同〉

会議もできる大きさ。
薄さはわずかペーパー2枚分*です。

8.5世代のサイズでありながら、
0.2ミリという薄さを実現。

従来のイメージを覆す「より大きく、薄い」を両立させたガラスを開発しました。社会の発展に役立つガラスを求め、私たちの挑戦は続きます。
*コピー用紙の平均的な厚み (約0.1mm) を基準にして換算

液晶用基板ガラス



「ガラス+極薄」でもっと先へ。



ハitekガラスで未来をつくる

日本電気硝子

www.neg.co.jp

詳しい情報は...

液晶用 NEG

検索

FPD International
in Yokohama 2011

■会期: 2011年10月26日(水)~28日(金) ■会場: パシフィコ横浜 ■ブース: No.3101

FPDに関する当社の最先端技術をご覧ください。